

題字：石野 華鳳  
(書家 小松市出身)

更生保護  
くわい・のくわい

# 小松能美

第11号

2021年(仲秋号)



会長 元山 洋

地域に根ざした活動推進で、  
安全で安心な社会を！



## 令和三年度定期総会

本年度の定期総会は、コロナ禍のため書面表決としました。五月二十五日までの結果は、会員数五十六人中四十三通の返信があり、全員賛成で全議案が承認されました。

今年度もコロナ禍のため、主な事業実施は、総理大臣メッセージ伝達、学校との連携社明作文コンテスト、チャリティ作家作品展、定例研修となりました。四駅街頭キャンペーン、キッズフェスタ、街宣活動、薬物乱用防止ヤング街頭キャンペーン参加は中止になりました。社会貢献活動、ケーズ研究会、視察研修、一泊自主研修、更生保護団体関係者の集いは検討中となっています。

### （令和三年度 小松能美保護司会の新役員）

◆ 会長 元山 洋

◆ 副会長 杉本雅規・佐野良衛・中川和信（兼庶務）

◆ 会計 由田外喜夫

◆ 庶務 林伸一

◆ 研修部会長 井上和代

◆ 協力組織部会長 俵 秀雄

◆ 犯罪予防活動部会長 德山知子（兼小松支部分区長）

◆ 広報部会長 新川 賢

◆ 監事 山形彰人・福島日出夫

◆ 小松支部分区長 中田 育・森本栄史・加茂隆夫

◆ 小松支部会計 廣島伸治

◆ 能美支部会計 南 裕子

（理事は監事を除く十五名）

令和三年度もコロナ禍の中、多くの事業・活動が中止・延期になるなど制約されていますが、今年度は学校・地域との連携強化の一環として、保護区内全小学校及び各図書館に絵本「コウくんときいろいはね」を寄贈すると共に、各学校の協力を得て全教職員にチラシの配布、児童館などに二種類の「ホゴちゃん・サラちゃん折り紙」の配布など新しい活動を行いました。また、「有名作家チャリティ作品展」の作品出品お願いと受け取りに多くの保護司が奔走して来ています。

長年にわたって保護司としてそれぞれの持ち場でご尽力いただきました四名の方が退任されました。感謝申し上げます。一方、新しく三名の方が保護司となり、とても嬉しく思うと共に力強く思っています。ともに頑張りましょう。さて、多くの方々による継続し

## 新任の挨拶



金沢保護観察所

所長 金山 忠夫

近畿地方更生保護委員会から転任してまいりました。よろしくお願い申し上げます。

小松能美保護区保護司会の皆様には、コロナ禍において更生保護の諸活動を継続していただきまして、厚く御礼申し上げます。

来年四月、民法の改正により成年年齢は十八歳となります。少年法の改定により、十八歳、十九歳の者は、「特定少年」として引き続き少年法が適用されることになりました。家庭裁判所が決定する特定少年に対する保護処分は、少年院送致、二年間の保護観察、六か月の保護観察です。少年院送致は、家庭裁判所が三年以下の範



## 陶道

チャリティ協力陶芸家

浮田 健剛

私が若かったころ、ちょっとわき道に逸れた時期があった。そんな折、中学時代の恩師に町でばったり出会った。その人は教員であり洋画家の先生でした。私の風体を見てすぐに理解したのでしよう。「だめじゃないか!」私について来なさいと言われ、着いた所が有名な陶芸家の家でした。玄関先で少し待たされ、中

では何かほそぼそと話し声がしていました。そして数分後、中に通され恩師先生の一言、「これを置いてく、よろしく!」と言い、その作家先生の一言、「ほな置いて行けば!」そんな感じで弟子入り生活が始まりました。当時は薪窯で、来る日も来る日も窯焼き専門、逃げ出したい心境も多々ありました。しかし、日に日に焼物に魅了され自分の行く道を自覚することになります。古九谷模写から始まり、現代感覚のデザイン等模索します。今思うと恩師先生の温かい指導があつてのこと、感謝し、肝に銘じ、作陶をつづけています。

六ヶ月の保護観察は、遵守事項違反により少年院に収容する規定はなく、罰金以下の刑に当たる罪の事件については、この処分に限って決定することができます。これらの中の改正については、今後、地域別定例研修等で説明することを予定しています。制度変更により保護司の皆様に御負担を掛けることになりますが、御理解と御協力を願い申し上げます。

二年間の保護観察は、保護観察中の者が遵守事項を遵守せず、その程度が重いときに家庭裁判所の決定で少年院に収容される(収容期間は一年以下)場合があり、出院後は保護観察が再開されます。少年院に収容する規定はなく、罰金以下の刑に当たる罪の事件については、この処分に限って決定することができます。これにより保護司の皆様に御負担を掛けることになりますが、御理解と御協力を願い申し上げます。

## 第44回有名作家チャリティ作品展

社会を明るくする運動の一環として、有名作家チャリティ作品展が、七月三十日～八月一日まで金沢市「エムザギヤラリー」において開催されました。

本運動の趣旨に賛同いただいた県内の有名作家に作品を寄贈いただき、作品は来場者の入札により、その売上金は罪を犯した人々の更生援助や犯罪予防活動に役立てるられます。

コロナ過で、感染対策をとりながらの作品展となりましたが、県内有名作家の作品を一堂に鑑賞できるとあって、熱心に見入る来場者の姿が見られました。ご寄付された地元作家の皆様、お世話をされた保護司有志の方々に、厚くお礼申し上げます。



### 【寄贈された方々】(敬称略)

◇工芸の部 打田 幸生 新藤 晋

三ツ井為吉 浅藏五十吉 山中 国盛

高 権成 浮田 健剛 下道 良平

北村 一於 北村 鶴代 德田八十吉

中田 和義 北村 吉田 北村 隆

米田 晃美 野村 吉田 鶴代 大仙 敬星 穂川 孝之

八十山和代 村中 和義 北村 大仙 穂川 孝之

北村 晃美 田方 敬星 北村 大成 大成

東 孝太郎 後出 秀茂 勇 池岡 長八

松村 芳明 西房 浩二 齐藤 敏明 信

### ◇書の部

都賀田久馬

福田

樹峰

### ◇絵画の部

松村 東 孝太郎

八十山和代 後出 秀茂

北村 長八

米田 芳明 西房 浩二

北村 英昭 大仙 敏明

北村 長八

北村 晃美 田方 秀茂

北村 大成 齐藤 敏明

北村 孝之



メッセージ伝達式（小松市）

## 7月は社明運動強調月間

市・能美市・川北町の庁舎で保護司会と更生保護女性会の役員が市長・町長・議長（一部副市長・副議長）に総理大臣メッセージを読み上げ、伝達しました。懇談の時間も持りました。又、各市町庁舎に社明の懸垂幕を掲げ、公共施設や学校に社明ポスター・チラシを配布、懇談し、テレビ小松で社明CM動画を放映しました。

また、保護区内の小学校と図書館には、絵本「コウくんときいろいはね」を寄贈しました。が、今年度も寂しい社明強調月間となりました。来年度こそは…。



メッセージ伝達式（川北町）



メッセージ伝達式（能美市）

七月の社明強調月間には、七月一日小松

市・能美市・川北町の庁舎で保護司会と更生保護女性会の役員が市長・町長・議長（一部副市長・副議長）に総理大臣メッセージを読み上げ、伝達しました。懇談の時間も持

りました。又、各市町庁舎に社明の懸垂幕を掲げ、公共施設や学校に社明ポスター・チラシを配布、懇談し、テレビ小松で社明CM動画を放映しました。

また、保護区内の小学校と図書館には、絵本「コウくんときいろいはね」を寄贈しました。が、今年度も寂しい社明強調月間となりました。来年度こそは…。

## 地方再犯防止推進計画策定に期待するもの

保護司 新川 賢

保護司になりたての頃（平成十九年）

だつたと思います。先輩保護司の方から体験を聞く機会がありました。仕事も、住むところもなく、借金取りに追われた対象者の話でした。ハローワークに同行し、公営住宅へ入居できないかと市役所に掛け合ひ、さらには借金取りとの交渉までも行つたとのことでした。その熱意と行動力にただただ驚くばかりでした。そして、保護司はそんなことまでしなければならないのか、大変なことを引き受けたと不安になつたのを覚えています。実際に自分が担当してみると、対象者それぞれがいろいろな問題を抱えており、どこに聞いたら良いのかわからずに（まだ周りの保護司の方に気軽に聞ける状況ではなかつた）悩んだものでした。保護観察官のアドバイスを受けながらなんとか対処しましたが、これがいくつもの問題を抱えた対象者だったら大変だったと思いました。

当時から、更生のために地域の協力が必要とされ、中でも再犯防止のためには福祉、医療等行政との連携が重要だとの認識が広まってきており、社明運動の市長・町長へのメッセージ伝達式の際の懇談の機会でも、行政との連携の重要性を確認してきました。しかしながら、具体的にどのような形での協力、連携ができるかとの

点に踏み込むことはありませんでした。

このような中で、平成二十八年に再犯の防止等の推進に関する法律が成立し、地

方公共団体に対して「再犯の防止等に関する施策の推進に関する計画」を策定す

る努力義務が課せられたことは、行政との連携を大きく後押しするものです。計画

策定の中で地方公共団体との間で更生保護の現状や課題を共有することが出来ま

す。そして、地方公共団体の発信力で広く住民に保護司の活動を知つてもらえます。

これが地域との連携の第一歩になると思

います。

小松市は令和元年七月に「リ・スタート」計画を策定し、「リ・スタート」サポート協議会にて運用の詳細を詰めていくこととなりました。コロナ禍で昨年度から協議会が開催されていないことで残念ですが、何とか早い時期の運用が待たれます。

能美市、川北町については、能美支部で計画策定に向けた活動を本格的に進めています。これまで社明運動などで更生保護団体と地方公共団体とが協力し合ってきましたが、計画策定により両者が太いパイプで繋がります。このパイプを生かしたいもの

です。

これまでも、行政との連携が重要だとの認識が広まってきており、社明運動の市長・町長へのメッセージ伝達式の際の懇談の機会でも、行政との連携の重要性を確認してきました。しかししながら、具体的にどのような形での協力、連携ができるかとの

## 新任保護司より「あいさつ



片村 裕

ベテラン保護司の方から思いがけず、保護司就任の依頼があり、訳も分からずほぼ即答で承諾をしました。動機は、少しでも社会貢献できればということ、「暇つぶしができる」でした。依頼時は町内会役員の任期満了が近づいており、このままだと時間を持て余すと考えたからです。動機は甚だ不純ですし、何をしていいのかも分からず、何の活動もしていないので新任の感想などはありません。ただ、引き受けて良かったと思うことは、社会に



中野 佳代

私が保護司の活動を知ったのは、友人のお父さんが保護司の活動に参加していたことがきっかけでした。インターネットで実際の取り組みを調べたり、事例を知り、私も社会貢献活動がしたいと考えるようになりました。実際、事務局に行き、何十年も保護司として活



安田 博之

引き続き関わることと、保護司・公務員ということで身を正す、背筋を伸ばさなければという良い意味での小さなプレッシャーがかかることです。

「更生」・「保護」という世界、活動は、私の知る漢字の意味とは違う、奥が深いものだらうと推測しています。少しでも対象者や保護司会のお役に立てればと思いますが、肩肘張らず、マイペースで活動することをお許しいただけたら幸いです。保護司会の皆様こんな私ですが、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。



近藤 悅子

動されている方の生の声を聞き、皆さんに教えていただきながら、自分の出来ることから少しづつ始めさせてもらいました。

突然地域の更生保護女性会の方々がお揃いで進んでいきたいと思いません。わからないことばかりですが、多くの諸先輩方にご指導をいただきながら、がんばりたいと思います。どうぞよろしくお願ひ致します。



澤田 壽子

私は、そのためには、孤立させることなく、本人の生きてきた背景も踏まえ、一緒に考え、お互いの信頼関係の構築に努め、社会復帰に向けてのお手伝いが出来ればと思っていました。

これから多くの諸先輩の皆様のご指導ご鞭撻を頂きながら、再犯防止における啓発をしています。その過程から社会の中で本人が抱える生きづらさや特性も人によって様々であり、犯罪や非行を犯してしまった方への支援をしています。その過程から社会の中で本人が抱える生きづらさや特性も人によって様々であります。このことから立ち直るには、本人の努力は無論ですが、地域での理解ある協力や仕事、地域の中には居場所があることが重要であると考えています。

## 退任保護司より「あいさつ



長崎 智子

引き続き関わることと、保護司・公務員ということで身を正す、背筋を伸ばさなければという良い意味での小さなプレッシャーがかかることです。

このたび、六月九日付をもって保護司を定年退任いたしました。

退職後、地域の方からの再三のご依頼を受け、保護司を拝命して二十二年間。十八歳の少年(毎月喜んで伺っているとの両親の談話)から、十七歳

の少年(口実を作つて面接日を守れなかつたが、母親への働きかけで好転)までに出会つた方々とは、往訪・来訪を通して私自身も共に考え・学ぶ年月でした。

今、任期を終え安堵していますが、ひとえに沢保護観察所・小松能美保護区保護司会の皆様のご指導、ご支援のおかげと感謝申し上げます。ありがとうございました。



澤田 壽子

最後の人は、私の任務の終了の日に面接に来て、同時に終了となりました。すつきりとした日だつたのを覚えています。よくよく聞いてみると悪い人はいません。どうしてもそうせずにいる事は言つていました。いやと言えればそんなことに人生間違いをせず前をみて生きていくほしいと願います。私も病気に負けずに頑張ります。

私の対象者は、全て若い男の子と言うか、青年ばかりでとても助かりました。若い人は挨拶や行動、話し方がきちんとしていてとても気持ちが良かつたです。それもそのはず、少年院から出てきたばかりで、やる気満々でしたから――

退任 宮川 信之

## 保護司活動のパートナー



### 小松地区更生保護女性会



#### 「模索からの小さな一步」

会長 中谷 純子

新型コロナに翻弄され、保護司会との社明運動も中止となり、年末近くに模索しながらたどり着いた活動は、市のこども家庭課から情報も頂き、話し合い、子ども食堂への“愛のかきやま”的ライブでした。

子ども食堂は保健衛生上難しい問題もあります。細やかな活動になりますが、子供たちが喜んでくれる一助になればと保護司会の助成金の一部も利用させて頂き、「フードシェアあつたらもん」、西照寺の「子ども食堂（市内6か所）」、「しろやまカフェ」に“愛のかきやま”を二十五箱お持ちしました。温かく迎えて頂き、私たちも皆様の活動にエールを送らせて頂きました。

視点を変えた小さな一步ですが、今後も何らかの形で継続或いは形を変えて子育ての為の支援を充実出来ないか話し合っていきたいと思っています。

また、継続してきた西部児童センターでの活動の一歩生け花教室では、少人数でララワーコーディネートを実施。子ども達の感性豊かな作品づくりが、地域のおばちゃん達との触れ合い、思い出作りになることを願い、私たちにとつても心温かな時間となりました。

県こころの健康センターの角田所長からいま分断されがちな心のつながりについて学び、地域社会で人と人が触れ合う事の意義を大切にし、皆様にご協力を頂きながらこれからも活動して行きたいと思っております。



### 能美地区更生保護女性会の活動



#### 「能美地区更生保護女性会の活動」

会長 仁地 美代

新型コロナウイルス感染拡大の収束がまだ見通せない状況が続いているが、不安な日々の連続が更生保護女性会活動にも影響を及ぼし、会員一同困惑の中で、今できることを模索しながら、更女の“ほつとけない”精神、共に生きる社会を目指す心で活動を続けております。

更女の基本活動の一つとして、地域の子ども達の安全安心な生活の確保の視点から、下校時パトロールを始めて十数年経過しました。地域に不審者が出没する事件が相次いで起きたことがきっかけとなり始めた活動ですが、今では朝夕激しい車の往来の中で、子ども達が安心して登下校でき、働く若い親御さんも助かつているのではないかでしょうか。

当初、更女だけで始めたパトロールも、今では“見守り隊”が発足し、地域に定着。多数の方々が、朝夕の見守り活動として協力頂いております。

また、文部科学省より義務付けされた新型コロナウイルス感染症のため、登下校時の検温調べに特化した支援体制を学校と連携し実施している地域もあり、多忙な先生方の負担軽減にもつながっています。



### 小松能美地区BBS会



#### 「BBSの対象者との活動について」

代表 北野 友希

BBSの活動について、保護司の皆様の会に出席させて頂くと、BBS会はどんな活動をしているのかという声を頂きます。

ちなみに、小松能美地区BBS会は、近年は対象者との活動はほぼ出来ていません。もちろん、コロナ禍ということもありますが、

そもそも、近年は対象者との活動は減つております。健全育成活動をしていることがほとんどです。BBSは観察所または、保護司会、または少年院などの依頼がないと対象者と関わることは出来ません。そのことを知らない保護司さんが多く、保護司さんからの依頼は減っています。

例えば、石川県BBS連盟は、今は湖南学院の学習支援を行っています。小松能美BBS会は、前は湖南学院のバレーボール大会の練習試合の対戦相手として、バレーボールを行ったり、石川県の教育委員会からの依頼で健全育成活動として対象者の少年達と担当の保護司さんと料理教室、生け花教室、また児童館活動やゴミ拾いなどのボランティア活動をしたりもしていました。保護司さんの依頼で、少年院から戻つて来た子達の受験の家庭教師をしていましたこともあります。どの活動もこのコロナ禍では出来ませんが、コロナが落ち着き、ご要望がありましたが、観察所に依頼して頂いて、日程等の条件が合いましたら、会員が活動に行きますのでご依頼下さい。

## 教育現場からの声

## 小松支部だより

現在四十三名の支部員がいるが、最近、新陳代謝が激しく、ここ二年間で五名が退任して、五名が新任となっている。しかし、このコロナ禍で新任者と顔を合わせる機会を作れないのが残念だ。保護司会の仲間と活動を知つてこそつながりが深まり、保護司としての意識が高まる。保護司会事業を自肅している今、何とか工夫して分区会を開いて、歓送迎や情報交換をしたい。

## 能美支部だより

能美支部は、コロナ禍で保護司の皆さんとのコミュニケーションが取れない状況が続いている。七月の社会を明るくする運動月間中は、総理大臣メッセージ伝達と学校訪問を行いましたが、全保護司が関わることはできませんでした。この二年間、中止された事業などについて、ワイズコロナでの保護司会活動をどのようにしていくか、令和三年度後半の時期がみんなで考えていく大切な時間となります。

今後の目標として、再犯防止計画策定に向けた活動を本格的に進めていくことあります。関係機関への説明と策定に向けたスケジュールを立てることが重要であると考えております。支部の全保護司が策定の必要性を認識して、取り組んでいくこととしています。



**「子どもが主役」の  
松東みどり学園に**

松東みどり学園  
校長  
廣田 恵子

が遊んでもらつたり、掃除と一緒にしてもらつたりと微笑ましい光景が見られます。児童生徒会では、五年生から九年生までの役員が校長室で役員会を行い、自分たちがやりたいことの案を作成します。それを児童生徒議会で審議し、総会や集会を通して取り組んでいきます。今年度のテーマは「創造・挨拶から始めよう！」です。四月はあいさつ運動を行い、毎日たくさんの人と挨拶する目標を立てました。

今年四月に松東みどり学園が開校いたしました。小中一貫となつたので一年生から九年生までの九年の子どもたちが学校生活を元気にしていきます。中学生に小学生に送っています。

六月は、感謝の気持ちを伝えることを目標に、カードに感謝を伝えた人のことを書いてもらい、エントランスに掲示していました。頑張った人や良い事例は集会で児童生徒会が紹介したり、賞状を作成し表彰を行つたりしていました。少しずつですが今後も子どもたちが主体的に活動できるよう職員との合言葉「子どもが主役」の松東みどり学園にしていきたいと思っています。

**編集後記**

コロナ禍、無観客開催など異例のオリンピック、パラリンピックでしたが、懸命な姿に希望と勇気をもっていました。選手それぞれが、支えてくれた人がいたから頑張れた、と話していたのが印象的でした。

今号は、活動が中止、制限される今だからこそ、との思いを大切にしました。ご協力ありがとうございました。

(新川 賢)

※お問い合わせ 事務局  
TEL0761-46-5105 FAX0761-46-5108  
E-mail hogoshikai@aqua.plala.or.jp  
URL <http://hogoshikai.org>

発行日 令和3年9月20日  
発行 小松能美保護区保護司会 広報部会  
印 刷 マルト株式会社

## 小松能美保護区保護観察件数等／8月1日現在の増減比較数

単位(件)

種別	1号 家庭裁判所で保護観察処分を受けた者	2号 少年院から仮退院を許された者	3号 刑務所から仮出所を許された者	4号 刑事裁判所で刑の執行を猶予され保護観察に付された者	生活環境調整 保護観察前に要する身元引受人及び帰住環境の適否調査と調整作業
令和2年	5	1	1	10	14
令和3年	4	0	0	9	16
増減	-1	-1	-1	-1	+2

## 最近の保護観察件数等の動向

保護観察事件は成人事件の割合が高く、男女比では男性12、女性1で男性が圧倒的に多い。また、生活環境調整事件は刑事施設入所者15、少年院入院者が1である。